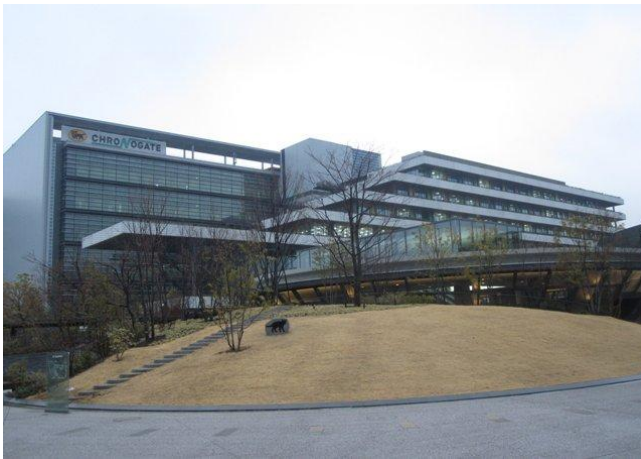


ヤマトグループにおける価値創造の取り組みを学ぶ

～東日本支部が巨大物流施設・羽田クロノゲートの見学会を開催 (2015.2.5)

さる2月5日、東日本支部ではヤマトホールディングスが運営する日本最大級の物流ターミナル・羽田クロノゲート(東京都大田区)で定例の事業所見学会を開催しました。



正面から見た羽田クロノゲート全景

「見学コースの予約は1年先までいっぱい」という超人気スポットであり、ヤマトグループが開発した最新の物流システムをはじめ、物流費削減のヒントが得られるということ、各社の物流部門や改善活動の担当者など40名あまりが参加。荷物の仕分けレーンや集中管理室、展示ホールを見学して理解を深めました。

同グループでは、物流を「バリューを生み出す手段」に進化させる取り組みを進めており、家電製品の修理・配送や購買業務の代行サービスなど、ユーザーの声に耳を傾けながら新しいビジネスを次々と展開しています。



参加メンバー(後方はウォークスルー1号機)

参加メンバーからは、『ニーズとシーズ、ウォンツを具体化するとはこういうことかと認識を新たにした』『お客様が求める価値を徹底的に追及する姿勢はVEそのもの』といった感想が聞かれました。

東日本支部ではこのような会合を定期的に行い、メンバー相互の情報交流を積極的に進めています。皆様も東日本支部の各種活動にぜひともご参加ください。